



グローバルEV関連株ファンド （為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）愛称：EV革命



「EV」テーマのなかで分散投資を進める

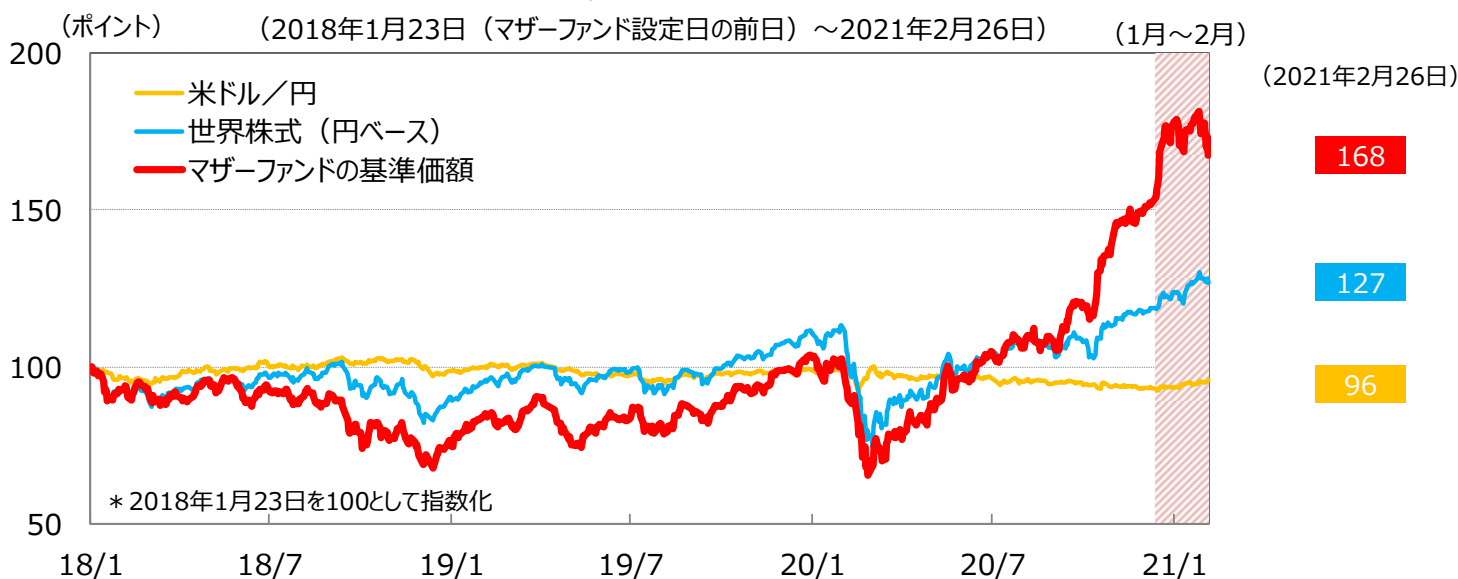
平素より「グローバルEV関連株ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）愛称：EV革命」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

以下、当ファンドのマザーファンドを実質的に運用しているロベコ・スイス・エージーからの情報を基に、運用状況や運用方針等をご報告申し上げます。

足元の運用状況（2021年1月～2月）～1月大幅上昇も2月はやや調整局面～

- 2021年1月～2月のマザーファンドのパフォーマンスは、**10.3%**となり、世界株式の6.7%を上回りました。
- **1月のマザーファンドのパフォーマンスは、欧州や中国のEV販売の好調を受け大幅に上昇しましたが、2月はやや調整しました。**米国の金利上昇を背景に、それまで「リスクオン（リスク選好）」で買われていた銘柄が調整しました。
- 世界的に株式市場のボラティリティ（価格変動性）が上昇するなか、当ファンドは**機動的な運用を行っています**。

＜マザーファンド、世界株式、米ドル／円の推移＞



＜マザーファンドの期間別騰落率（%）＞

2021年1月～2月 **10.3**
（ご参考）設定日前日～2021年2月 **67.5**

＜世界株式の期間別騰落率（%）＞

2021年1月～2月 **6.7**
（ご参考）設定日前日～2021年2月 **26.8**

（注1）マザーファンドは「グローバルEV関連株マザーファンド」。マザーファンドの推移は1万口当たり基準価額を指数化。マザーファンドに信託報酬はかかりません。

（当ファンドは年1.793%（税抜き1.63%）の信託報酬がかかります。）

（注2）世界株式はMSCI AC ワールドインデックス（配当込み、円ベース）。同インデックスはマザーファンドおよび当ファンドのベンチマークではありません。

（注3）騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

（注4）マザーファンドの基準価額算出時の外貨建て資産の評価額は、基準価額算出日前日の株価と基準価額算出日の為替レートを使用しています。世界株式は同様の計算方法により、基準価額算出日前日の指数値と基準価額算出日の為替レートから円換算値を算出し指数化しています。

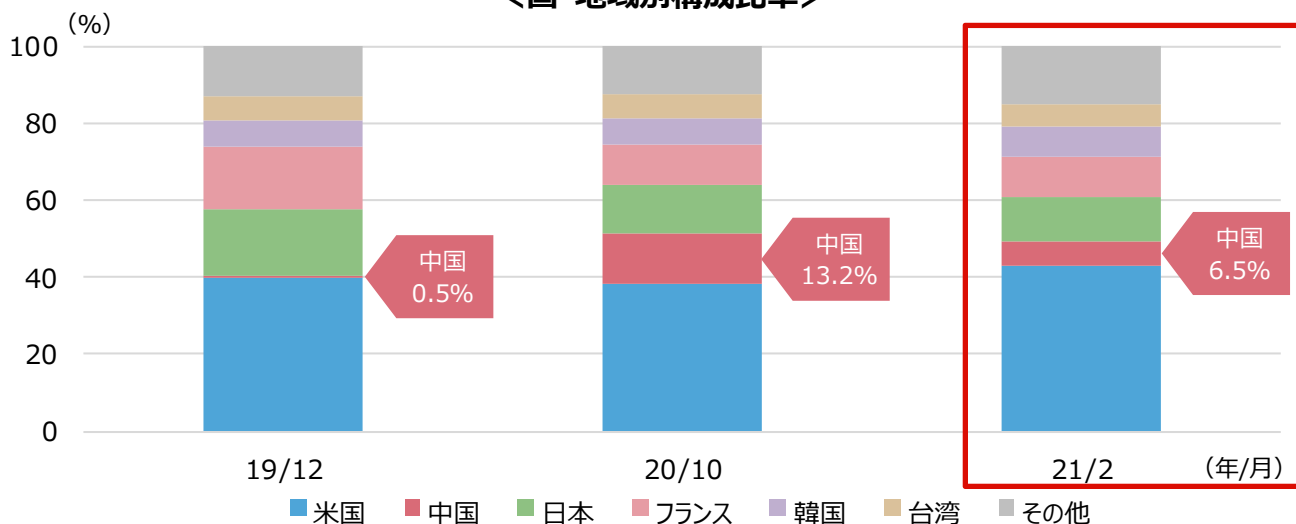
（出所）Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。
※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは6ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

中国のEV関連銘柄を一部利益確定売り

- 2021年2月には、特に2020年後半からパフォーマンスに貢献した**中国EVメーカーのNIO、シャオペンなどの組入比率を引き下げ**ました。株価上昇によるバリュエーションの水準などを勘案し、利益確定売りを行いました。
- 2020年は中国企業の構成比率を大きく引き上げたことなどがパフォーマンスに貢献しました。引き続き中国のEV関連銘柄には注目していますが、**2021年2月末の構成比率を6.5%へ引き下げ**ました。

<国・地域別構成比率>

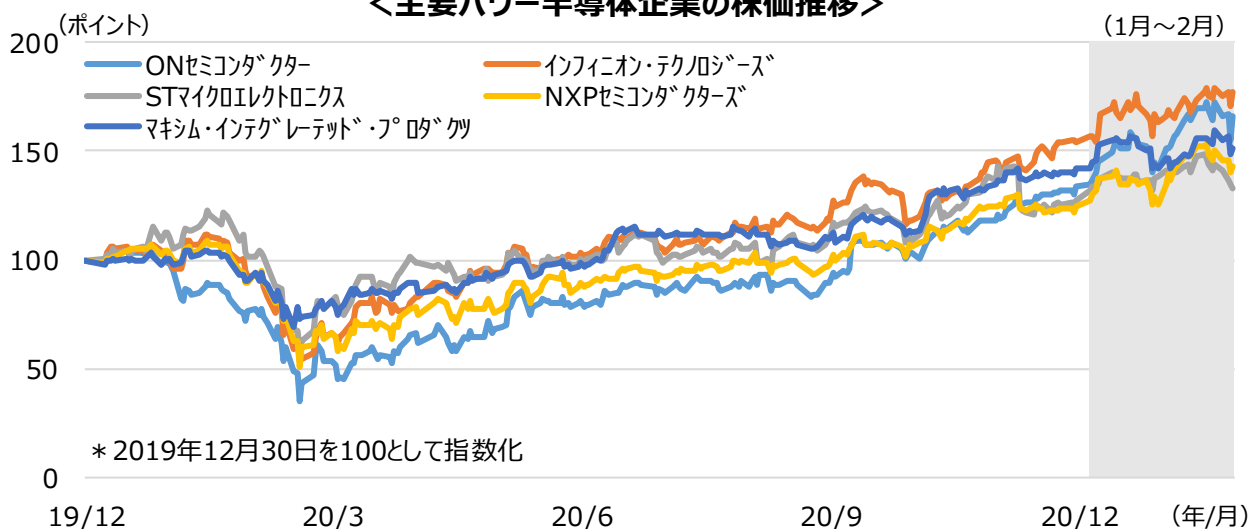


(注) 国・地域別構成比率はグローバルEV関連株マザーファンドの株式評価額を100%として算出。データは月末値。
(出所) ロベコ・スイス・エージーのデータを基に委託会社作成

パフォーマンスに貢献したパワー半導体関連銘柄

- 2020年初からの車載向け**パワー半導体の需給ひっ迫**を背景に、**関連銘柄が好調**に推移しました。
- 組入比率（2021年2月末）第1位の**ONセミコンダクター**、パワー半導体世界シェアNo.1の**インフィニオン・テクノロジー**の他、**NXPセミコンダクターズ**、**マキシム・インテグレートッド・プロダクツ**などの保有銘柄がパフォーマンスに貢献しました。

<主要パワー半導体企業の株価推移>



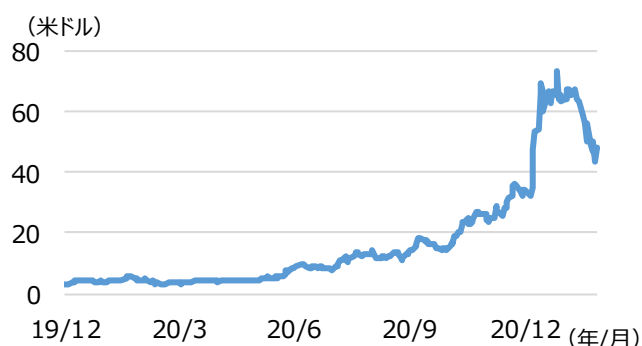
(注) データは2019年12月30日～2021年2月26日。現地通貨ベース。
(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
※ 上記は2020年12月30日～2021年2月26日における組入銘柄の例であり、当ファンドにおいて今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。また当該銘柄を推奨するものではありません。

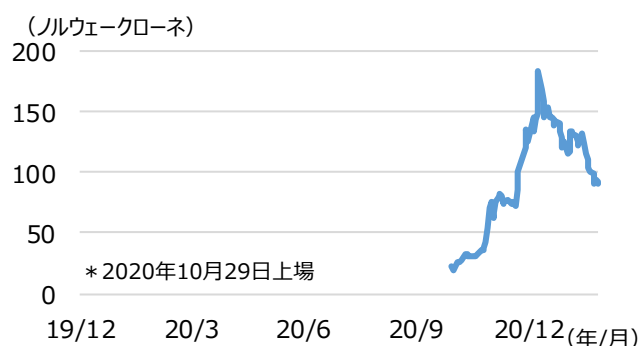
水素、リチウム関連銘柄にも注目

- カーボンニュートラルが脚光を浴びるなか、**クリーンエネルギーである水素関連やバッテリー材料のリチウム関連銘柄にも注目**しています。
- 2021年1月に株価が急上昇したこともあり**燃料電池メーカーのプラグ・パワーを全売却**しましたが、2月には新たに**グリーン水素燃料供給事業者であるエバーフュエル**を組み入れました。
- 2021年**1月にリチウムの生産量で世界トップシェアの企業のアルバマール、チリのリチウム生産大手SQM**を組み入れ、2月にさらに追加投資を行いました。
- 世界的にガソリン車からEVへの移行が進むなか、**中核部品のリチウムイオン電池の需要拡大が期待**されます。リチウムは、電気を動力源とする輸送社会への移行に必要なバッテリーの重要素材であり、二酸化炭素の排出量削減にも貢献が期待されます。

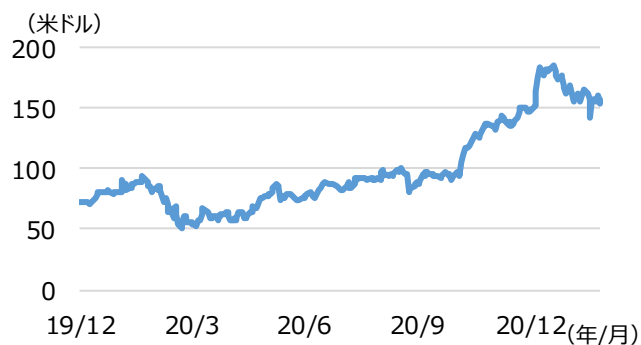
プラグ・パワーの株価推移



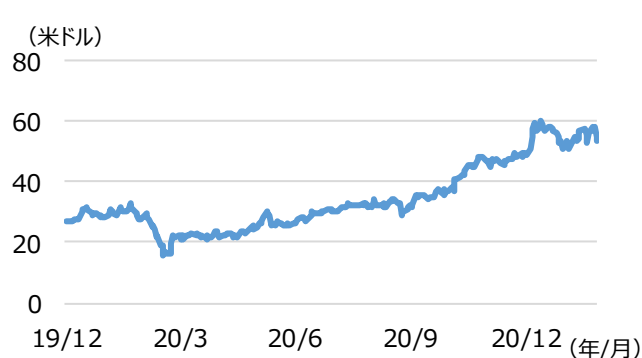
エバーフュエルの株価推移



アルバマールの株価推移



SQM（ソシエダード・キミカ・イ・ミネラ・デ・チリ）の株価推移



（注）データは2019年12月30日～2021年2月26日、エバーフュエルは2020年10月29日～2021年2月26日。

（出所）Bloombergのデータを基に委託会社作成

運用方針について：「EV」テーマのなかで分散投資

- 世界の株式市場は、数年来の金融緩和効果もあり上昇が続きましたが、一部のEV関連銘柄は割高感があると判断し、一部利益確定売りを行いました。引き続き、**各企業のファンダメンタルズ、バリュエーション水準等を勘案して再投資する機会を模索**していきます。
- 当ファンドは**EVテーマのなかで幅広い業種に分散投資**しています。EV化やコネクティビティ（車のツナガル化）、自動運転を可能にするソフトウェアの開発を行う企業など高い成長が期待されるハイテク企業に焦点を当てています。また、中国のEV市場や先行している欧州だけでなく、世界規模でEVインフラ整備に貢献する企業にも注目していきます。

※ 上記は過去の実績、当資料作成時点の運用方針であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※ 上記は2020年12月30日～2021年2月26日における組入銘柄の例であり、当ファンドにおいて今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。また当該銘柄を推奨するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移（2018年1月24日（設定日）～2021年3月16日）



(2021年3月16日現在)

16,068円

15,159円

約185億円



(2021年3月16日現在)

16,157円

15,210円

約1,185億円

(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

(注3) （為替ヘッジあり）、（為替ヘッジなし）ともに分配金（1万口当たり、税引前）は設定来累計（2021年3月16日現在）で1,000円です。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果および分配を保証するものではありません。分配金額は委託会社が分配方針に基づき基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは6ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドの特色

- マザーファンドへの投資を通じて、EV（電気自動車）関連企業の株式に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指します。
 - 「グローバルEV関連株マザーファンド」への投資を通じて、EV（電気自動車）の進化や発展に伴い、恩恵を受けられる企業に投資します。
 - 銘柄の選定にあたっては、個々の企業の成長性や株価のバリエーションを考慮します。
 - マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ロベコ・スイス・エーゲーへ委託します。
 - 『為替ヘッジあり』と『為替ヘッジなし』の2つのファンドからお選びいただけます。
 - 為替ヘッジあり

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

ただし、完全な為替変動リスクを回避することはできません。

※ 一部の通貨について、為替ヘッジが困難等と判断された場合、為替ヘッジを行わないまたは他の通貨で代替した為替取引を行うことがあります。
 - 為替ヘッジなし

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※ 販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
 - 毎年1月、7月の23日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として分配を目指します。
 - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。
 - 株価変動に伴うリスク、○為替リスク、○カントリーリスク、○信用リスク、○流動性リスク等があります。

分配金に関する留意事項、その他の留意点

- 分配金に関する留意事項
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- その他の留意点
 - 当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。●ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。●投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

購入単位	お申込みの販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	お申込みの販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
購入・換金 申込受付不可日	以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ●ニューヨーク証券取引所の休業日 ●英国証券取引所の休業日 ●ニューヨークの銀行の休業日 ●ロンドンの銀行の休業日
信託期間	2028年1月24日まで（2018年1月24日設定）
決算日	毎年1月、7月の23日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。）

ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

①投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <u>3.3%（税抜き3.0%）</u> を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。
信託財産留保額	ありません。

②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に <u>年1.793%（税抜き1.63%）</u> の率を乗じた額
その他の費用・手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 ●監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ●資産を外国で保管する場合の費用 等 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社およびその他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	委託会社にお問い合わせください。（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）
投資顧問会社	ロベコ・スイス・エージー（マザーファンドの運用指図に関する権限の一部委託を受け、信託財産の運用を行います。）

販売会社

販売会社名	登録番号		日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	備考
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長（金商）第1号	○				
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第8号	○				※1
十六ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○				
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○				
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第36号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	※2

※1：2021年4月1日よりお取扱いを開始する予定です。

※2：金融商品仲介業者経由のみでのお取扱いとなります。

●モーニングスター アワード「ファンド オブ ザ イヤー 2020」について

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型（グローバル）部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から選考されました。

【重要な注意事項】

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。
- 当資料に評価機関等の評価が掲載されている場合、当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

作成基準日：2021年3月17日

